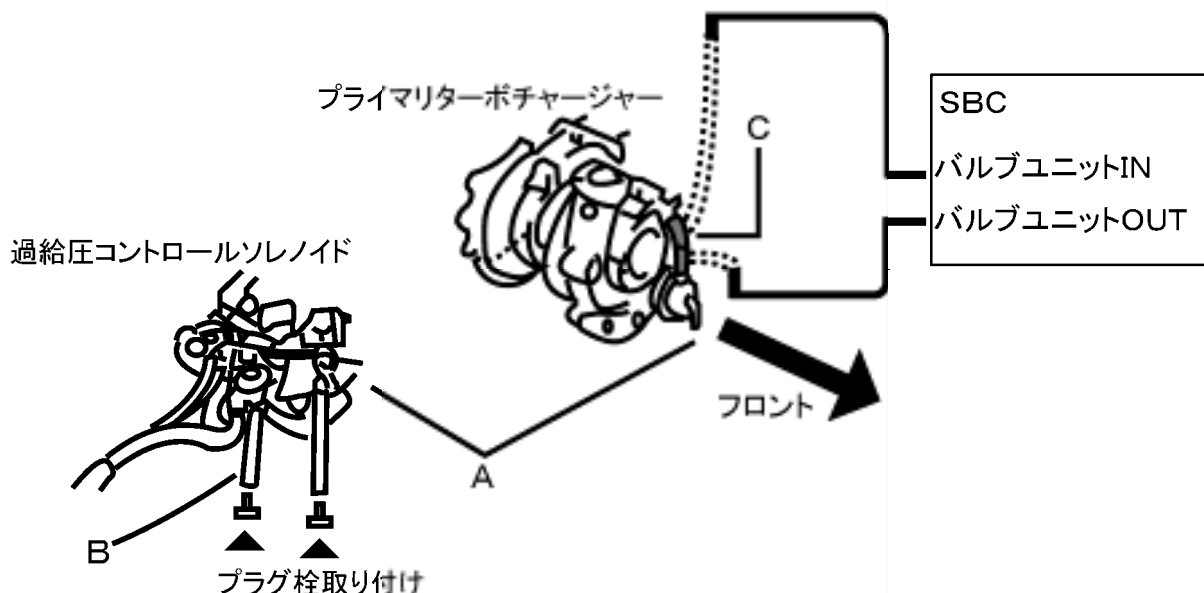


## ■車種別基本配管図

バルブは適切な場所に取り付けてください。

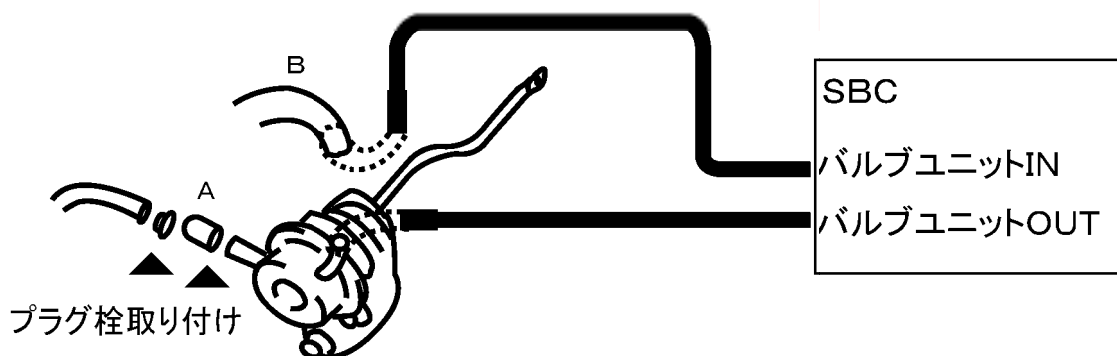
JZA80/JZS147/JZS161

1. 車両フロント側プライマリーターボチャージャーのアクチュエーター（図中A）から2本配管が出ています。純正の過給圧コントロールソレノイドバルブに配管されている方（図中B）をカットし栓をしてください。
2. アクチュエーターからターボのコンプレッサーカバーに繋がるもう一方の配管（図中C）を取り外し、コンプレッサーからバルブユニットのIN側に配管し、アクチュエーターからバルブユニットのOUT側に配管してください。



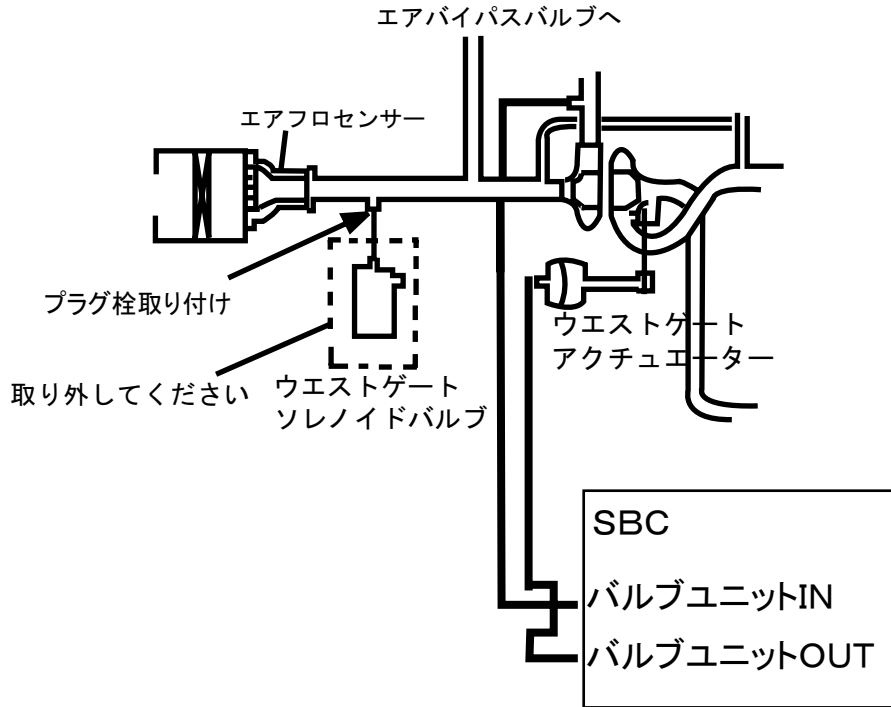
EP82/EP91

1. アクチュエーターから2本ある配管のうち（AとB）、純正のコントロールバルブ（VSV）につながる配管（図中A）を取り外し、栓をしてください。
2. アクチュエーターから出ているもう一方の配管（図中B）を取り外し、ターボのコンプレッサーをバルブユニットのIN側に配管し、アクチュエーターをバルブユニットのOUT側へ配管してください。



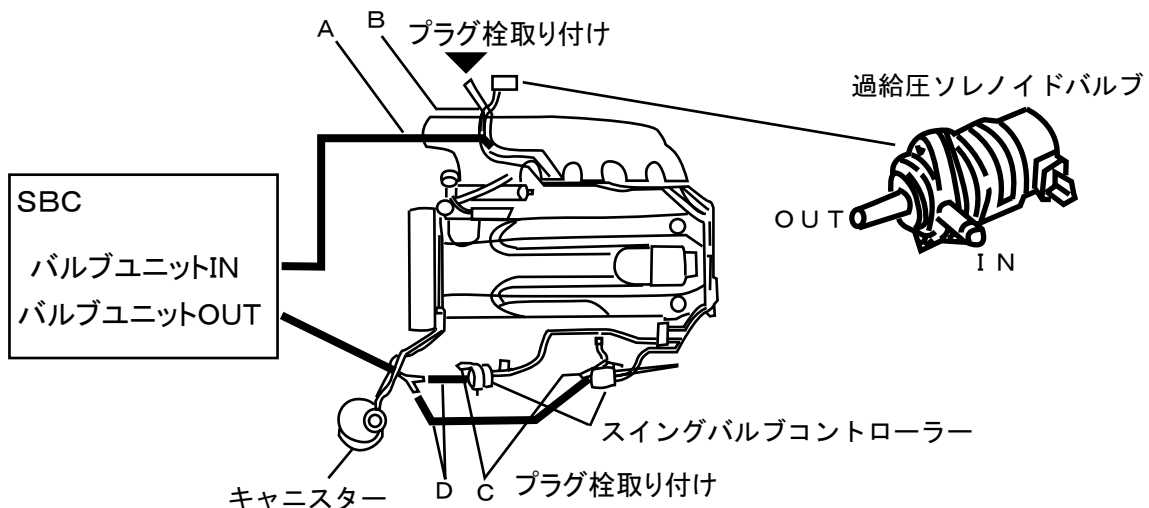
CN9A/CP9A/CT9A (EVO8MR以降は除く)

1. 純正採用されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し下図のように栓をしてください。
2. 付属のΦ6ホースを使用して下図のようにコンプレッサーのOUTとバルブユニットのIN側を接続してください。また、アクチュエーターとバルブユニットのOUT側を接続してください。
3. 純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をしてください。(エアフロセンサー後)



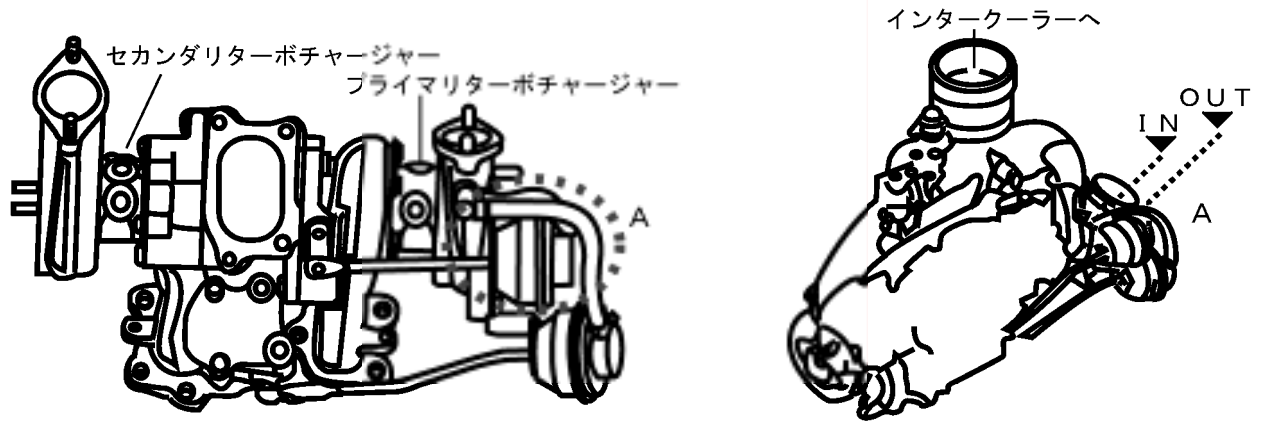
BNR32/BCNR33/BN R34

1. 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブの2本の配管の内、下図IN側をゴムホースの根元部分から外し(図中A)付属のホースでバルブユニットのIN側へ配管してください。純正の過給圧コントロールソレノイドバルブの配管(図中B)はソレノイドバルブから抜き栓をしてください。
2. 2つのターボチャージャーそれぞれに付属しているアクチュエーターの配管(図中C)を外し栓をしてください。また、それぞれのアクチュエーターから配管を引き(図中D)付属の3WAYで一つにまとめてバルブユニットのOUT側へ配管してください。



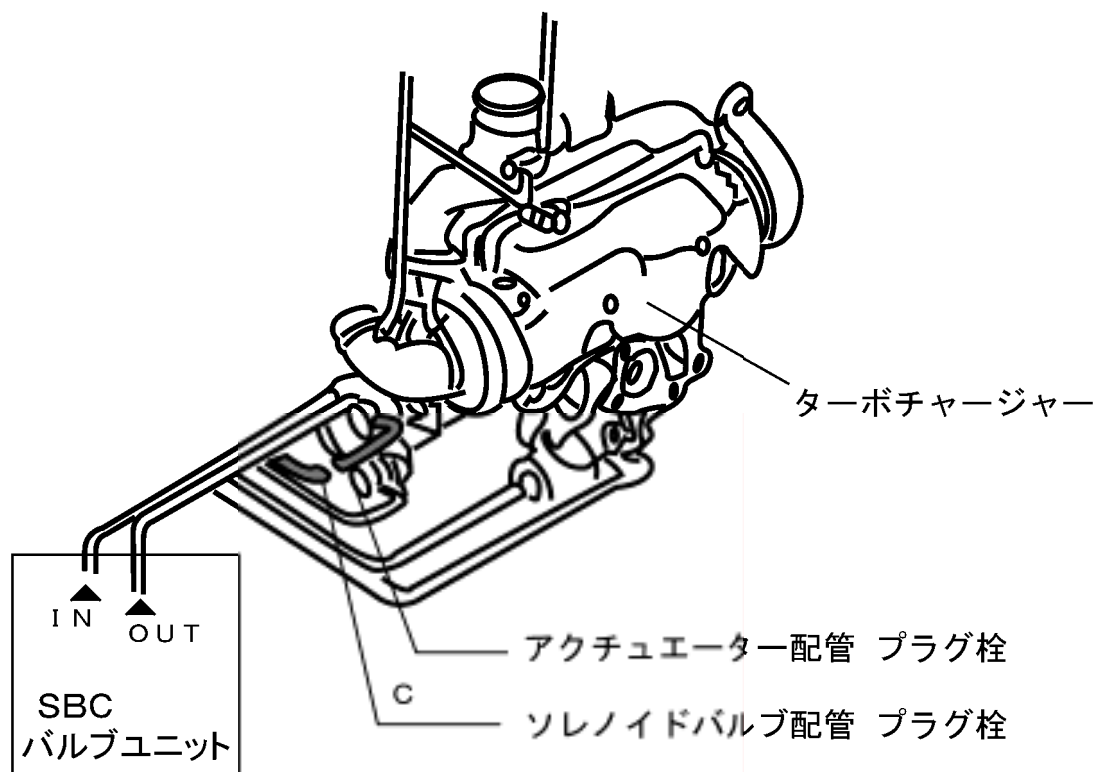
# FD3S RX-7

1. 純正エアクリーナーBOXを取り外してください。
2. 車両フロント側のプライマリーターボチャージャーの下に2つアクチュエーターが縦に並んでいます。上側のウェストゲートコントロール用アクチュエーター（図中A）に2本の配管があり、まずコンプレッサーに繋がっている配管（図中B）を外しコンプレッサーからバルブユニットのIN側へ、アクチュエーターからバルブユニットのOUT側へ配管してください。



〔注意〕 下側のアクチュエーターには配管しません。

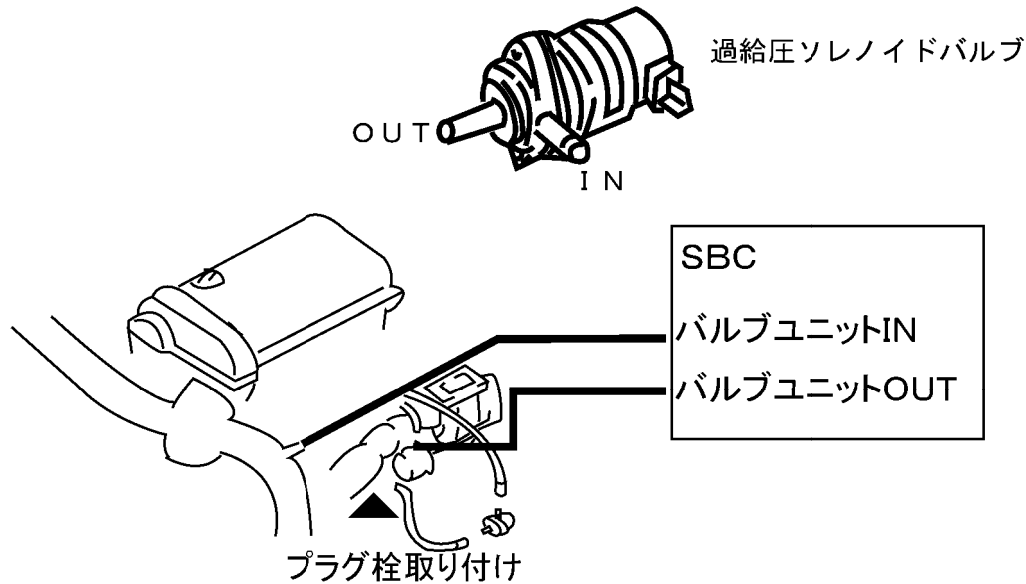
3. 次に2. のウェストゲートコントロールアクチュエーター（図中A）から出ているもう一方の配管（図中Cソレノイドバルブに繋がる配管）をカットして栓をしてください。



4. 純正の過給圧コントロールソレノイドのコネクタは2個とも抜いて機能しないようにしてください。

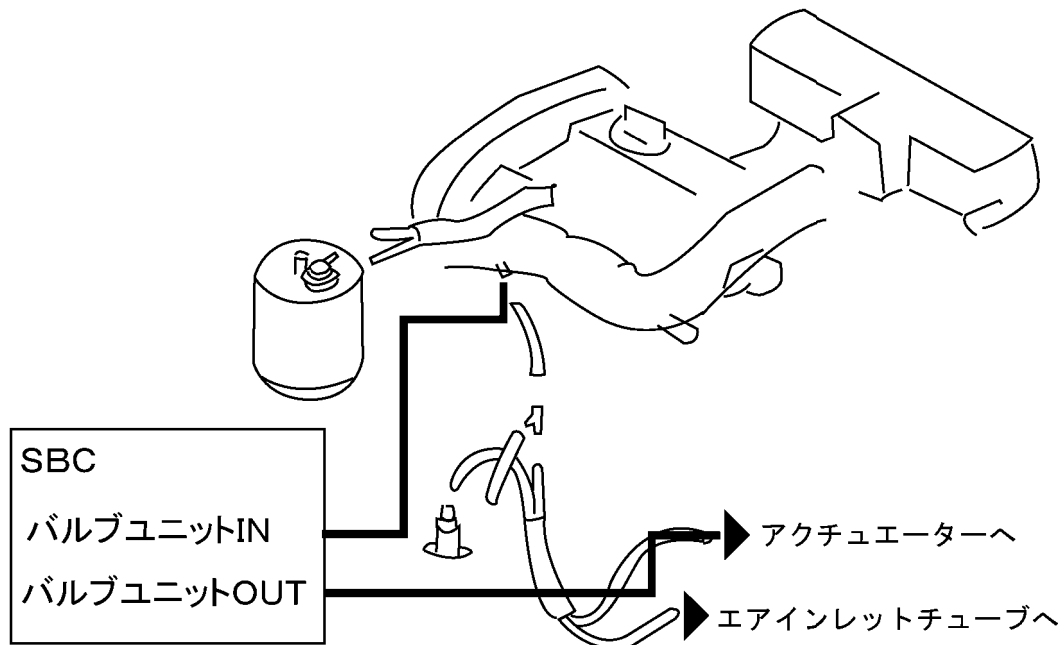
PS13/RPS13/S14/S15

1. 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し純正ソレノイドバルブを取り外してください。
2. 付属のΦ6ホースを使用してインテークチューブとバルブユニットのIN側を接続してください。また、アクチュエーター側とバルブユニットのOUT側を接続してください。
3. 純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をして塞いでください。



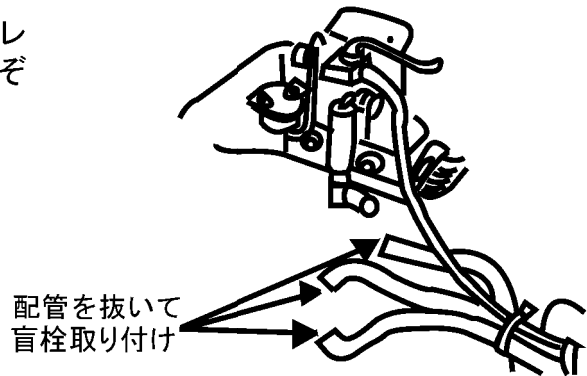
ECR33/ER34

1. 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブに接続されている配管を取り外し純正ソレノイドバルブを取り外してください。
2. 付属のΦ6ホースを使用してインテークチューブとバルブユニットのIN側を接続してください。また、アクチュエーターとソレノイドバルブユニットのOUT側を接続してください。
3. 純正の過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管が接続されていたエアインレットチューブに栓をしてください。

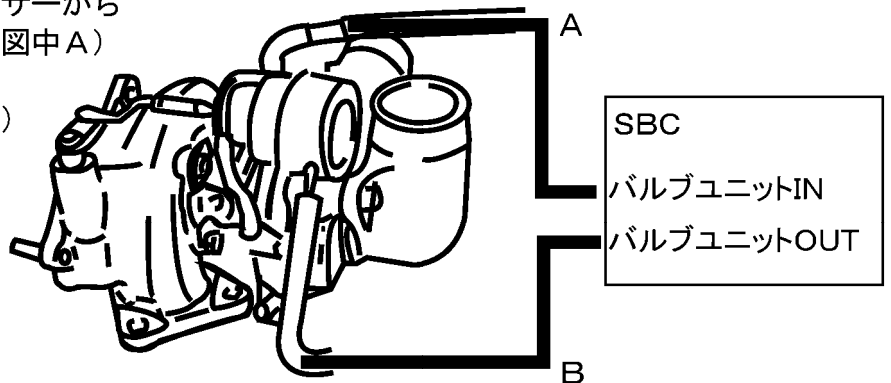


## GC8/GF8

1. 車両右側ストラット脇の過給圧コントロールソレノイドバルブから3本の配管全てを抜き、それぞれプラグ等を使用して栓をしてください。

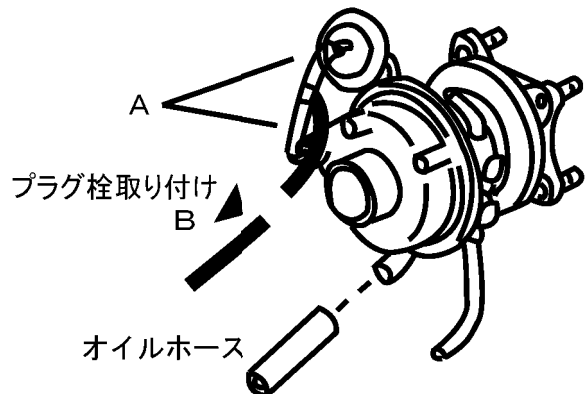


2. ターボチャージャーのコンプレッサーからバルブユニットのIN側へ配管（図中A）しバルブユニットのOUT側からアクチュエーターに配管（図中B）してください。



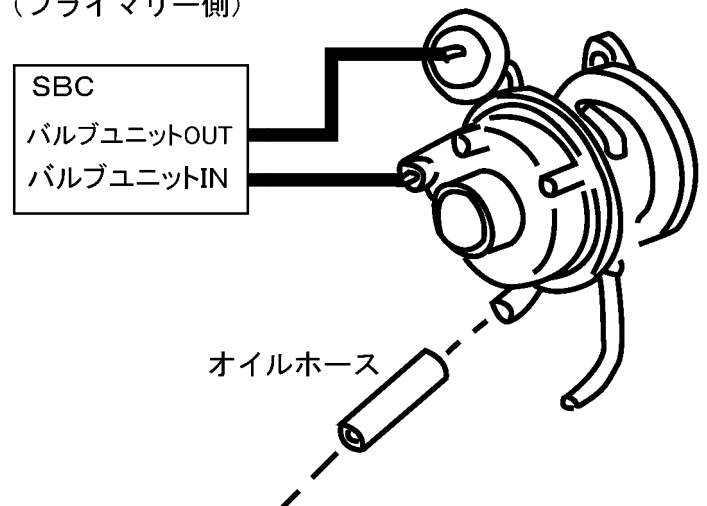
## BG5/BH5

1. エンジン左側プライマリーターボチャージャーのコンプレッサーとアクチュエーターを繋ぐ配管（図中A）を取り外してください。中間に過給圧コントロールソレノイドへの3WAYがありますが一緒に取り外してください。



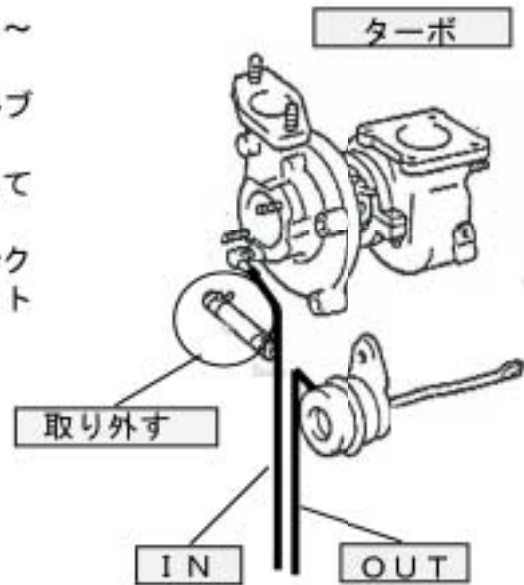
2. (1)で取り外した3WAYから出ているソレノイドバルブに繋がる配管に栓をし（図中B）コンプレッサーからバルブユニットのIN側にアクチュエーターからバルブユニットのOUT側にそれぞれ付属のΦ6ホースを使用して配管してください。

ターボチャージャーASSY  
(プライマリー側)

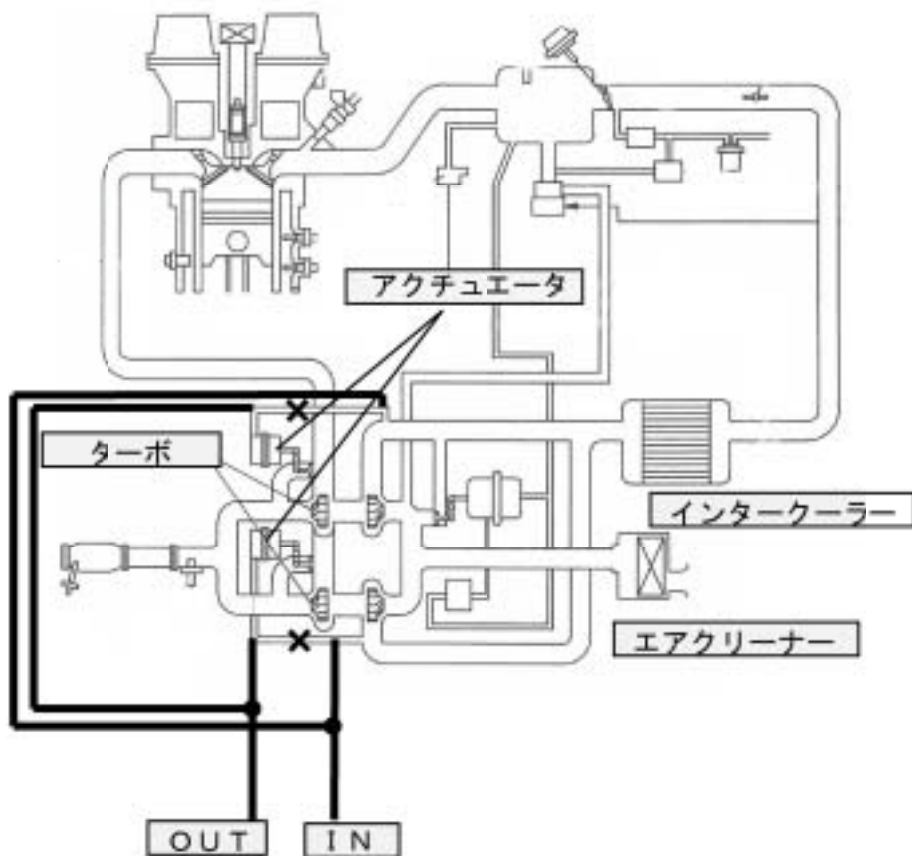


## ■ 1HD-FTE (ランドクルーザー)

- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用してバルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。



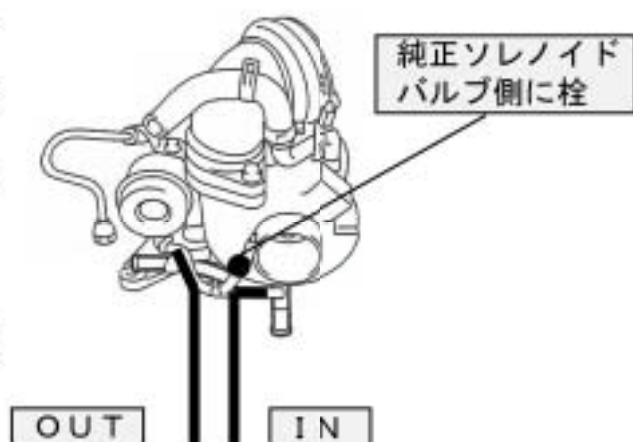
## ■ 1JZ-GTE (JZX90)



- ①2つのターボチャージャーにそれぞれ付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②それぞれのアクチュエータから付属のホースを使用して配管を引き、スリーウェイを使用して1本にまとめてバルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して配管を引き、スリーウェイを使用して1本にまとめてバルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。

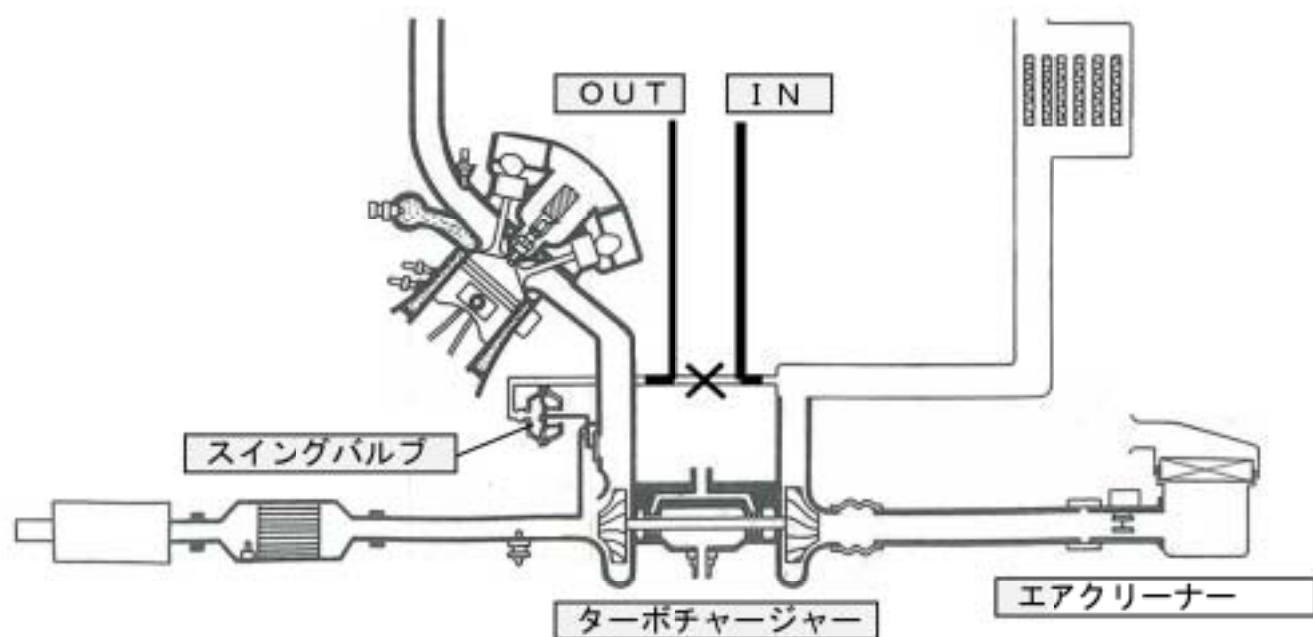
## ■EJ20 (BP5/BL5/GDB)

- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用してバルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④純正ソレノイドバルブにつながる配管にボルト等で栓をしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。



※純正ソレノイドバルブのコネクターは外さないでください。エンジンチェックランプが点灯します。

## ■RB20DET



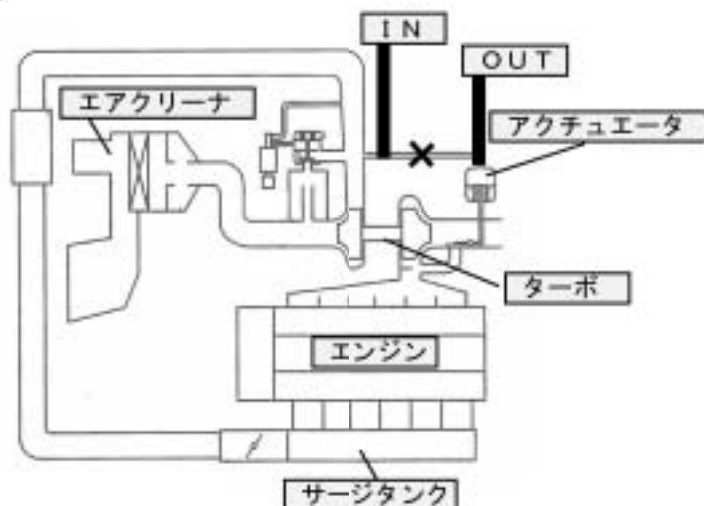
- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管してください。

### アドバイス！

RB20DETには純正のソレノイドバルブはありません。

## ■ 1JZ-GTE (JZX100/110)

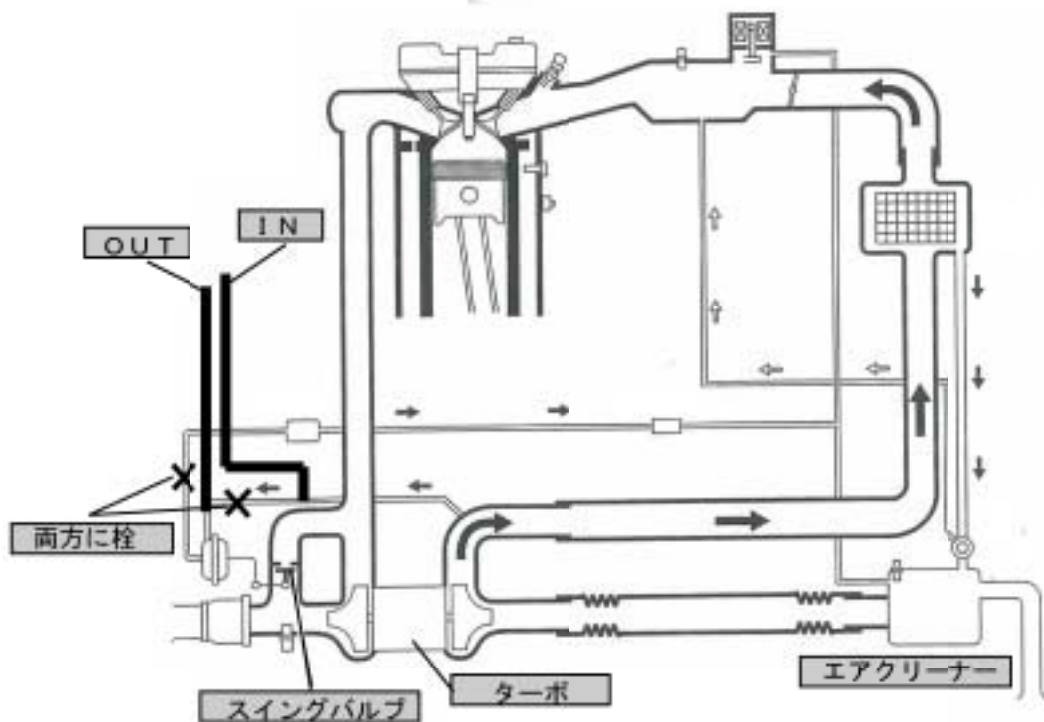
- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用してバルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。



### アドバイス!

JZX100/110系には純正のソレノイドバルブはありません。

## ■ 3S-GTE (ST215/ST246W)

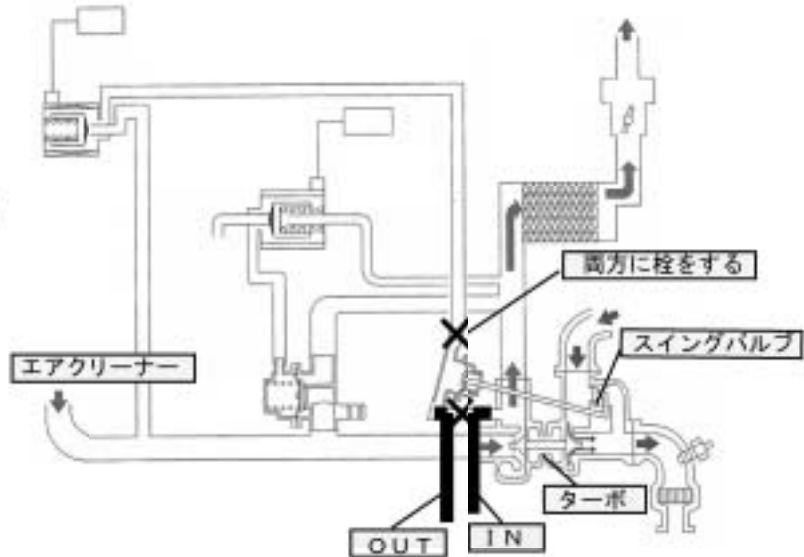


- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④アクチュエータから出ているもう一方の純正配管を適当な場所で切断して、双方にボルト等で栓をし圧力が逃げないようにして下さい。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。



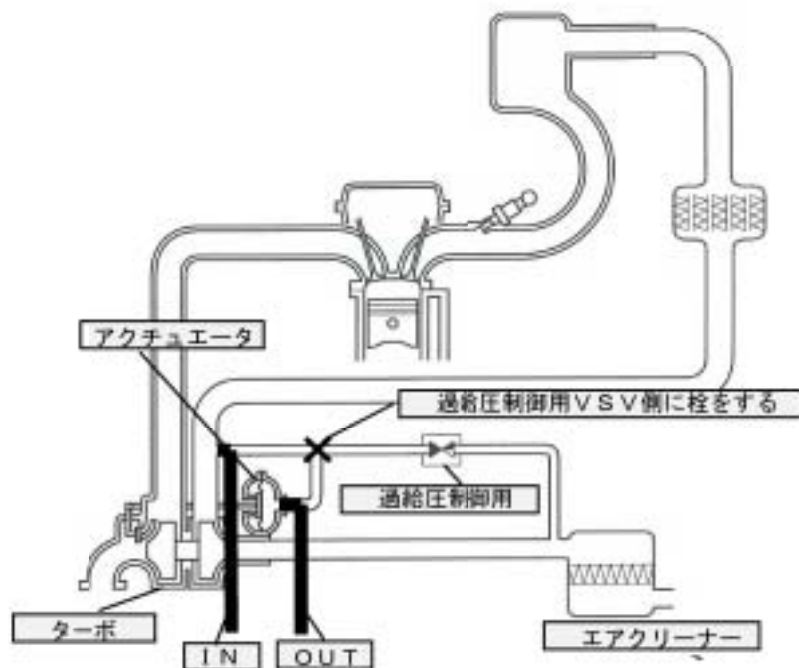
## ■ K 6 A

- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④アクチュエータから出ているもう一方の純正配管を適当な場所で切断して、双方にボルト等で栓をし圧力が逃げないようにしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。



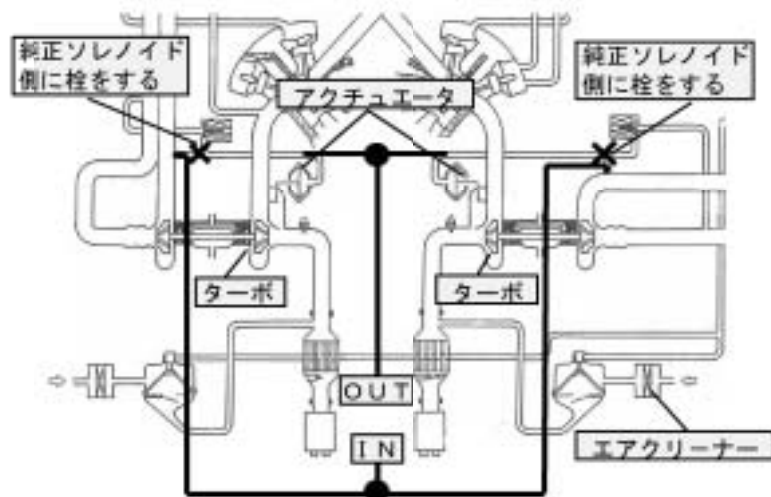
## ■ ダイハツ JB-DET/EF-DET

- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④純正ソレノイドバルブにつながる配管にボルト等で栓をしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定しサージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。

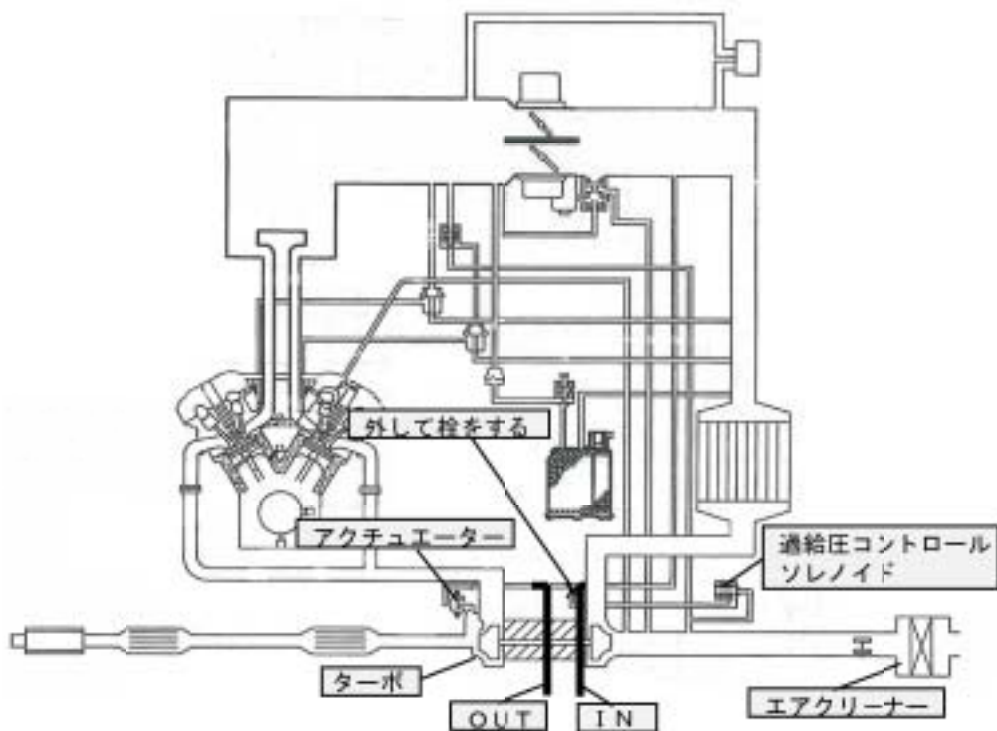


## ■VG30DET

- ①2つのターボチャージャーにそれぞれ付属しているアクチュエータ～コンプレッサカバー間の配管を外して下さい。
- ②それぞれのアクチュエータから付属のホースを使用して配管を引き、スリーウェイを使用して1本にまとめてバルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサカバー部から付属のホースを使用して配管を引き、スリーウェイを使用して1本にまとめてバルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④それぞれの純正ソレノイドバルブにつながる配管に栓をしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。



## ■VQ30DET/VQ25DET



- ①ターボチャージャーに付属しているアクチュエータ～コンプレッサカバー間の配管を外して下さい。
- ②アクチュエータから付属のホースを使用して、バルブユニットのOUT側へ配管して下さい。
- ③コンプレッサカバー部から付属のホースを使用して、バルブユニットのIN側へ配管して下さい。
- ④純正の過給圧コントロールソレノイドバルブにつながる配管に栓をしてください。
- ⑤バルブユニットを適切な場所に固定し、サージタンク（インテークマニホールド）圧を室内のCPUユニットに配管して下さい。